



難関大学への合格の知らせが続々と届いています。ここでは合格を勝ち取った生徒の声をご紹介します。

《合格した大学・学部・学科（コース）》

茨城大学 人文社会科学部 人間文化学科

志望動機

私が茨城大学人文社会科学部に志望した理由は、私の興味がある2つのジャンルのどちらも専門的に学ぶことができるので、私の将来の夢に活かしたいと考えたからです。

受験勉強を始めた時期

高校3年生8月頃

入試への準備方法

小論文と面接の試験があったので、先生達に添削と面接官をしていただいて対策しました。小論文は課題文が提示されてそれについて答える国語のような形式だったので、論述問題をたくさん解いて先生に書き方を教えて貰いました。面接は予め質問を予想してそれに対する答えを用意しました。

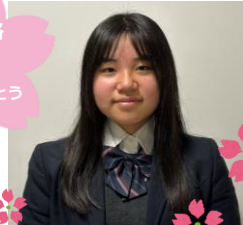
喜びのコメント

合格がわかった時は、やったーって叫びながら走り回るほど泣いて喜びました。自分で引くくらい嬉しかったので、そんなに行きたかったんだあってどこか他人事のように思ったほどです。

後輩に伝えたいこと・アドバイス

行き詰まった時は先生に相談しましょう。自分でできたと思っても全くできてないものです、悔しいことに。先生の迷惑になるかもーとか遠慮しないでください、絶対に！

合格
祝
おめでとう



石塚 悠天（いづつか ゆうま）
特別進学コース文系
守谷市立愛宕中学校出身

《合格した大学・学部・学科（コース）》

東京理科大学 工学部 情報工学科

学校推薦型選抜（指定校制）

志望動機

私は、情報社会になっている現代でデジタルデバイドをなくしたいと考えて情報分野に強くなりたいと思い学部学科を志望していました。また大学を選定した理由はいくつもあります。一つは東京理科大学は情報分野に強く自分の技術、知識を伸ばすことができると考えたからです。そしてもう一つは企業の信頼がとて厚く更に大学院への院進実績が強く将来の視野が広がると思ったからです。

受験勉強を始めた時期

高校2年生8月頃

入試への準備方法

私は、まず第一回定期考査で1位を取りました。そしてそれ以降上位3位以内を取り続けました。また英検ではなるべくCSEスコアを上げ模試での偏差値も上げました。おかげで選考点が高くなり指定校推薦という入試方式が視野に入りました。しかし大学入試で妥協はしたくないと考えて、高2の夏から本格的に勉強を始めました。高2の夏から冬にかけては休日5時間、平日3時間ほど勉強しました。高3では休日9時間、平日5時間ほど勉強しました。

喜びのコメント

「めっちゃ嬉しいです。嬉しすぎて叫びたい気分です。アアアアアア」

実際指定校推薦の校内選考に通っていただけじゃなかったのが、夏休みも変わらず勉強していました。そして校内選考に通っていると知ったときにはひとまず安堵しました。しかしそこから志望理由書などを書く必要があったので本当の合格をもらうまでは気を抜けませんでした。そして合格がわかったときはとにかく嬉しかったです。

合格
祝
おめでとう



長谷川 晴希（はせがわ はるき）
進学コース理系
つくば市立高崎中学校出身

後輩に伝えたいこと・アドバイス

定期考査で常に三位以内に入っていれば指定校推薦の校内選考で有利に立ち回れます。しかし行きたい学部学科に指定校推薦の枠が設けられていなければ安易に出願すべきではないと思います。また、1、2年生の間に英検で二級までを獲得していれば3年時に準一級の勉強ができます。準一級の問題を読むことができれば英語の偏差値が60は行くのでおすすめです。